

共通論題・部会プログラム

10月26日(金)

部会 13:00 - 15:30

部会1. 「和解(リコンシリエーション)」の政治学

司会 百瀬 宏(津田塾大学)

報告 柴 宜弘(東京大学)

「バルカン 歴史教育を通しての和解の試み」

藤本義彦(広島経済大学)

「南アフリカ: 真実和解委員会の和解にむけた挑戦とその限界」

小林知子(福岡教育大学)

「日本: 『過去の清算』に関する諸問題 『日韓遺骨問題』をてがかりに」

討論 大沼保昭(東京大学)

林 哲(津田塾大学)

部会2. アメリカ外交における東アジア

司会 滝田賢治(中央大学)

報告 伊藤 剛(明治大学)

「『分裂アジア』から『統合アジア』へ アメリカ同盟政策の変容」

菊池 努(青山学院大学)

「アメリカとアジアの地域制度:

制度間の相互作用(institutional interplay/linkage)の観点から」

佐々木卓也(立教大学)

「アメリカ外交と東アジア 歴史的観点から」

討論 恒川恵市(東京大学)

部会3. 新しい戦争

司会 初瀬龍平(京都女子大学)

報告 中西久枝(名古屋大学)

「中東の紛争とディアスポラ政治 イランのアフガンコミュニティを事例に」

定形 衛(名古屋大学)

「旧ユーゴスラヴィア紛争とエスニック・ネットワーク ディアスポラ問題を中心に」

武内進一(日本貿易振興機構アジア経済研究所)

「アフリカの紛争とエスニック・ネットワーク コンゴ内戦とルワンダ系住民の役割」

討論 六鹿茂夫(静岡県立大学)

部会4. グローバル化と国内政治

司会兼討論 赤根谷達雄(筑波大学)

報告 杉之原真子(日本学術振興会)

「市場の論理か国内政治か? グローバリゼーションと経済政策の選択をめぐる」

浅川晃広(名古屋大学)

「オーストラリアにおける専門職移民導入促進政策

グローバル化の国際人口移動における『選別基準』」

加藤洋子(日本大学)

「科学教育研究、人の移動とみなし輸出規制 米中関係の文脈で」

討論 中居良文(学習院大学)

部会5．国家と世界のあいだ ヨーロッパ地域統合における主権・公共圏・境界線

司会 田中俊郎（慶應義塾大学）

報告 遠藤 乾（北海道大学）

「主権と補完性 主権の絶対性・不可分性・永遠性を中心に 」

細井優子（法政大学）

「デモスなきデモクラシー？ 欧州統合における市民、討議、公共圏」

市川美南子（東京福祉大学）

「ヨーロッパ地域統合における脱国民国家型市民権と境界線」

討論 羽場久美子（青山学院大学）

山崎 望（駒沢大学）

10月27日（土）

部会 9：30 - 12：00

部会6．戦後日本外交における「二つの中国」と「政経分離」

司会 石井 明（元東京大学）

報告 陳 肇斌（首都大学東京）

「戦後日中関係における『経済要因』」

池田直隆（國學院大學）

「『二つの中国』問題における香港の意味」

神田豊隆（東京大学）

「池田・佐藤政権による『二つの中国』政策 その共通性と差異 」

討論 若月秀和（北海学園大学）

清水 麗（国土館大学）

平川幸子（早稲田大学）

部会7．民族紛争における宗教の位相

司会 白杵 陽（日本女子大学）

報告 尹 慧瑛（一橋大学）

「アイデンティティとしての宗教 『分断社会』北アイルランドを通して 」

末近浩太（立命館大学）

「アラブ諸国における宗教とナショナリズム レバノンの宗派主義体制の事例から 」

近藤光博（日本女子大学）

「宗教・文化・ナショナリズム

現代インドにおける『ヒンドゥー・ネイション』理論とその政治」

討論 乗 浩子（元帝京大学）

「ラテンアメリカ：カトリックの退潮と先住民神学の台頭」

部会8．戦略文化の比較研究

司会 土山實男（青山学院大学）

報告 佐道明広（中京大学）

「日本の戦略文化 戦略の形成と展開における文化的特質について 」

松田康博（防衛研究所）

「中国の戦略文化試論 交渉と武力行使 」

川上高司（拓殖大学）

「アメリカの戦略文化 戦略文化から見る米国の先制攻撃論 」

討論 重政公一（大妻女子大学）

部会 9 . 国際関係論におけるディシプリンの対話

司会 山本吉宣 (青山学院大学)

報告 篠原初枝 (早稲田大学)

「外交史・国際関係史と国際政治学理論 歴史研究に理論は有用か」

遠藤 貢 (東京大学)

「国際関係論とアフリカ政治研究」

内記香子 (大阪大学)

「国際関係論と国際法学の対話：リーガライゼーション、遵守、規範の視点から」

討論 石田 淳 (東京大学)

部会 10 . デタントの再検討 - CSCE をめぐって

司会 渡邊啓貴 (東京外国語大学)

報告 宮脇 昇 (立命館大学)

「アメリカの CSCE 政策」

川嶋周一 (明治大学)

「ヨーロッパ統合から見た CSCE：共同体の対外的役割獲得の模索と政治連合構想、1969-1973」

齋藤嘉臣 (同志社大学 / 龍谷大学)

「イギリスと CSCE 交渉 CSCE 政策における東方政策と西方政策の連関」

討論 田中孝彦 (早稲田大学)

部会 11 . 日韓国際政治学会合同パネル (JAIR-KAIS Joint Symposium) (英語)

The Possibilities of Multilateralism in Northeast Asia:

The Six-Party Talks and Beyond

司会 PARK Kun Young (The Catholic University of Korea, Vice President of KAIS)

報告 LEE Sang-Hyun (The Sejong Institute)

“Multilateral Security Cooperation in Northeast Asia: A South Korean Perspective”

MICHISHITA Narushige (National Graduate Institute for Policy Studies)

“Lessons Learned: Promises and Limits of the Six Party Talks”

討論 KOKUBUN Ryosei (Keio University)

総会 15 : 10 - 15 : 40

共通論題 15 : 40 - 18 : 30

論題「核保有と国際政治」

司会 高木誠一郎 (青山学院大学)

パネリスト 広瀬崇子 (専修大学)

「核保有と国際政治：インド・パキスタン」

小此木政夫 (慶應義塾大学)

「核保有と国際政治：朝鮮半島」

梅本哲也 (静岡県立大学)

「米国の核政策と核不拡散体制」

西原 正 (平和・安全保障研究所)

「核保有と国際政治：日本の立場」

懇親会 18 : 45 - 20 : 30 福岡国際会議場内 国際会議室および 5 階ロビー

10月28日(日)

部会 14:00 - 16:30

部会 1 2 . 東アジアの歴史共同研究

司会 平野健一郎(早稲田大学)

報告 近藤孝弘(名古屋大学)

「ヨーロッパと東アジアにおける歴史問題の比較検討」

木村 真(日本女子大学)

「歴史教育における国民史の相対化の試み パルカン共同歴史プロジェクトの経験」

笠原十九司(都留文科大学)

「東アジアにおける歴史認識の共有は可能か 日中韓3国歴史教材の取組から」

討論 坂元一哉(大阪大学)

部会 1 3 . 国際制度論の再検討

司会 納家政嗣(青山学院大学)

報告 飯田敬輔(東京大学)

「遵守のパラドクス 法化は遵守向上を促すか」

山田哲也(椋山女学園大学)

「国際組織法学と国際制度論の架橋 国連研究が果たし得る役割を巡って」

足立研幾(立命館大学)

「国際制度形成過程における国家 NGO 関係 共鳴・協働・競合」

討論 山影 進(東京大学)

部会 1 4 . 地域的安全保障組織と平和構築

司会兼討論 篠田英朗(広島大学)

報告 片岡貞治(早稲田大学)

「アフリカにおける事例 AU を中心として」

植田隆子(国際基督教大学)

「ヨーロッパにおける事例 NATO, EU, OSCE」

部会 1 5 . 国際関係における開発と援助の新潮流 国際変動と国内変動との共振

司会 稲田十一(専修大学)

報告 小林誉明(国際協力銀行)

「国際開発援助の制度化と国内的起源 PRSP(貧困削減戦略文書)体制の政治過程」

林 ゆり(横浜市立大学)

「国際援助と国内財政の連動 アフリカの内戦終結後の国家建設」

近藤久洋(東京国際大学)

「NIEs からドナーへ 韓国と台湾の国際協力と国内要因」

討論 毛利勝彦(国際基督教大学)

部会 16 . アジア太平洋における外交の諸相

司会 菅 英輝 (西南女学院大学)

報告 寺地功次 (共立女子大学)

「ラオス紛争とアメリカ ベトナム戦争前史としてのラオス介入」

古賀善文 (純真短期大学)

「リアリズムの対北朝鮮制裁論 なぜムチよりもアメの方が有効か」

益尾知佐子 (早稲田大学)

「『日中友好』時代の両国関係 指導者の言説を中心に」

討論 高原明生 (東京大学)

西崎文子 (成蹊大学)

《2008年度研究大会における部会企画・自由論題報告への 応募締め切りについて》

2008年度研究大会においても、例年通り、部会企画の提案及び自由論題(部会)報告の希望を募集致します。締め切りは、2008年1月31日(木)です。なお、部会報告についてはペーパー提出が義務づけられていますので、応募の際にはその点にご留意くださるようお願い致します。応募要領につきましては、追ってニュースレター及びホームページ上でお知らせ致します。ホームページには、大会終了後に応募要領を掲載する予定ですので、ご覧下さい。

企画・研究委員会主任 古城佳子

分科会プログラム

10月26日(金)

分科会セッションA (15:45~17:15) / セッションB (17:30~19:30)

A - 1 日本外交史 (責任者: 佐藤元英)

司会 黒沢文貴 (東京女子大学)

報告 片山慶隆 (一橋大学)

「韓国保護国化過程における英米の対韓政策と日本外交」

シュラトフ・ヤロスラブ (慶應義塾大学)

「ロシア海陸軍の計画における『日本脅威』、1905-1914 海軍を中心に」

討論 大澤博明 (熊本大学)

千葉 功 (昭和女子大学)

A - 2 欧州国際政治史・欧州研究 (責任者: 森井裕一)

司会 森井裕一 (東京大学)

報告 黒田友哉 (慶應義塾大学)

「ユーラトムをめぐるフランスの国家戦略

民生エネルギー協力と核兵器保有の狭間で」

小田桐確 (上智大学)

「近代ヨーロッパにおける同盟の変容 第1回対仏大同盟から五カ国同盟へ」

討論 上原良子 (フェリス女学院大学)

河村弘祐 (東京大学)

A - 3 アメリカ政治外交 (責任者: 滝田賢治)

《イラク戦争とアメリカ外交》

司会兼討論 菅 英輝 (西南女学院大学)

報告 溜 和敏 (中央大学)

「イラク戦争と米印関係」

小峯弘靖 (PHP 総合研究所)

「第三者機関による政策提案の実効性

イラク政策における諮問機関の影響力・『イラク研究グループ』を事例として」

A - 4 東アジア (責任者: 平岩俊司)

司会 平岩俊司 (静岡県立大学)

報告 阪田恭代 (神田外語大学)

「アイゼンハワー政権の西太平洋集団安全保障構想と米韓同盟

アジア・太平洋同盟としての米韓同盟という視点」

佐橋 亮 (東京大学)

「米中和解プロセスにおける米国の台湾問題の処理(1969-1976)」

討論 李 鍾元 (立教大学)

植木千可子 (早稲田大学)

A - 5 理論と方法Ⅰ（責任者：飯田敬輔）

《国際関係と規範》

司会 太田 宏（早稲田大学）

報告 北村 治（政治経済研究所）

「『デモクラシーの戦争』と国際政治思想 国際規範の再検討」

柳 始賢（東京学芸大学）

「グローバル規範と国際NGO」

討論 納家政嗣（青山学院大学）

A - 6 / B - 5（連続）安全保障 ・ （責任者：梅本哲也）

司会兼討論 六鹿茂夫（静岡県立大学）

報告 道下徳成（政策研究大学院大学）

「北朝鮮の軍事行動の歴史・特徴・評価」

鶴岡路人（在ベルギー日本大使館）

「NATOにおけるパートナーシップ政策の変容 加盟支援から有志連合へ」

佐藤史郎（龍谷大学）

「『非核兵器国の安全保証』の逆説 秩序 / 無秩序、平等 / 不平等」

討論 神谷万丈（防衛大学校）

A - 7 / B - 6（連続）国際政治経済 ・ （責任者：大矢根聡）

《コンストラクティヴィズムによるグローバル・ガバナンス分析の新局面》

司会 大矢根聡（同志社大学）

報告 栗栖薫子（大阪大学）

「グローバルな規範伝播の多系的展開 人間の安全保障規範を事例に」

三浦 聡（東洋大学）

「コフィ・アナンとジョン・デューイの邂逅

グローバル・ガバナンスにおける協働学習」

逸見 勉（東京都立大学）

「『緩やかな制度』とマルチセクトラルな協調

EUにおける二酸化炭素排出量取引措置をめぐる政治」

討論 大芝 亮（一橋大学）

阪口 功（学習院大学）

岡垣知子（防衛研究所）

A - 8 政策決定（責任者：飯倉 章）

司会 長尾 悟（東洋学園大学）

報告 高木 綾（二松学舎大学）

「両用技術の輸出規制に見る安全保障と経済の優先順位

米国の商用人工衛星の対中輸出規制を事例として」

討論 山田 敦（一橋大学）

A - 9 / B - 7 (連続) トランスナショナル ・ (責任者: 鎌田真弓)

《境界線、生政治、グローバル・ガヴァナンス》

司会 関根政美 (慶應義塾大学)

報告 前田幸男 (国際基督教大学)

「パスポート・ビザからみた統治性の問題」

土谷岳史 (早稲田大学)

「EUにおける『移民』管理」

安高啓朗 (ウォーリック大学)

「境界線とグローバル・ガヴァナンス」

討論 清水耕介 (龍谷大学)

A - 10 ジェンダー (責任者: 竹中千春)

司会 竹中千春 (明治学院大学)

報告 勝間 靖 (早稲田大学)

「『子どもの権利』と新たな国際秩序の模索」

中村文子 (東北大学)

「性的搾取のグローバリゼーション

男女、貧富、内外差別の重層的格差構造下の人々」

討論 戸田真紀子 (天理大学)

柄谷利恵子 (関西大学)

B - 1 欧州国際政治史・欧州研究 (責任者: 森井裕一)

司会 森井裕一 (東京大学)

報告 吉留公太 (一橋大学)

「米欧関係の転機としてのボスニア紛争調停 1992年～1995年」

山本 健 (London School of Economics and Political Science)

「CSCEにおける『人・アイデア・情報の移動の自由』および人権条項の起源」

討論 小林正英 (尚美学園大学)

齋藤嘉臣 (同志社大学 / 龍谷大学)

B - 2 アメリカ政治外交 (責任者: 滝田賢治)

司会兼討論 土屋大洋 (慶應義塾大学)

報告 川上耕平 (北九州市立大学 / 宮崎公立大学)

「冷戦初期トルーマン政権における心理戦略の起源 1946～1952年」

永井雄一郎 (日本大学)

「アイゼンハウアー政権の宇宙開発政策 国家安全保障政策との関連で」

B - 3 ロシア・東欧（責任者：宮崎英隆）

司会 宮崎英隆（東海大学）

報告 諸富 学（在ユジノサハリンスク総領事館）

「資源開発を巡る極東サハリンの国際地域間関係の変動
重層的プロセスにおける日露協力の方向性」

関 能徳（早稲田大学）

「『グレー・ゾーン』の政治体制変動 選挙権威主義体制期セルビアの事例研究と
多項ロジスティック回帰による国家横断的な因果効果の推定」

小泉直美（防衛大学校）

「ロシアの不拡散政策 国内核管理体制と原子力行政」

討論 荒井信雄（北海道大学）

河村弘祐（東京大学）

工藤仁子（防衛研究所）

B - 4 東南アジア

司会兼討論 須藤季夫（南山大学）

報告 勝間田弘（Nanyang Technological University）

「ASEAN 共同体 ASEAN 40周年記念プロジェクト成果報告」

鈴木隆（作新学院大学）

「EAEC 構想の展開と破綻 東アジア広域協力の可能性をめぐって」

10月27日（土）

分科会セッションC（13:30～15:10）

C - 1 日本外交史（責任者：佐藤元英）

司会兼討論 佐藤元英（中央大学）

報告 深瀬正富（慶應義塾大学）

「太平洋戦争起源論の再検討 日本による『甲案』『乙案』の提案と
ローズベルトによる『暫定協定案』の模索と廃棄」

吉次公介（沖縄国際大学）

「池田政権期の日本外交と冷戦 『三本柱』論と東南アジア政策を中心に」

討論 増田 弘（東洋英和女学院大学）

C - 2 東アジア国際政治史（責任者：川島 真）

《東アジアにおける国際連盟 - 知的交流と衛生事業 - 》

司会 川島 真（東京大学）

報告 齋川貴嗣（早稲田大学）

「『文化の連盟』とアジア 国際連盟の知的協力事業における日本・中国」

安田佳代（東京大学）

「国際連盟の衛生事業 1920年代の東アジアを中心に」

討論 半澤朝彦（明治学院大学）

家近亮子（敬愛大学）

C - 3 アメリカ政治外交（責任者：滝田賢治）

《流動化するアメリカ政治経済》

司会兼討論 渡部恒雄（三井物産戦略研究所）

報告 安井明彦（みずほ総合研究所）

「ブッシュ政権とアメリカ経済」

廣瀬淳子（国立国会図書館）

「イラク戦争をめぐる議会・大統領関係 2008年選挙に向けて」

C - 4 ロシア・東欧（責任者：宮崎英隆）

司会 宮崎英隆（東海大学）

報告 野田岳人（群馬大学）

「チェチェン革命とドゥダーエフ体制」

タルノフスキー セルゲイ（慶應義塾大学）

「ポスト冷戦期におけるロシアの東アジア外交 相互イメージを中心に」

討論 徳永晴美（上智大学）

石郷岡建（日本大学）

C - 5 ラテンアメリカ（責任者：出岡直也）

《国家テロリズムの責任追及の国際政治学》

司会 出岡直也（慶應義塾大学）

報告 内田みどり（和歌山大学）

「アルゼンチン免責法無効判決と国際人権ネットワーク

国際社会・域内諸国・国内社会の相互作用」

討論 大串和雄（東京大学）

C - 6 アフリカ（責任者：片岡貞治）

《中国とアフリカ》

司会兼趣旨説明 片岡貞治（早稲田大学）

「中国の対アフリカ政策」

報告 佐野康子（獨協大学）

「拡大する中国の対アフリカ進出 エチオピアからの視点」

討論 神保 謙（慶應義塾大学）

C - 7 理論と方法（責任者：飯田敬輔）

《国際関係へのアプローチの再検討》

司会 飯田敬輔（東京大学）

報告 信田智人（国際大学）

「国際関係へのアプローチの再検討 国際関係学の立場から」

玄 大松（東京大学）

「国際関係へのアプローチの再検討 地域研究の立場から

アジアにおける地域研究とアジア・バロメーター」

小川浩之（愛知県立大学）

「外交史の立場から 戦後ヨーロッパ外交史を中心に」

討論 中西 寛（京都大学）

君塚直隆（神奈川県立外語短期大学）

木村幹（神戸大学）

C - 8 国際統合（責任者：児玉昌己）

《欧州統合の過去と現在（ローマ条約50年周年）》

司会 児玉昌己（久留米大学）

報告 山本真智子（パリ第一大学）

「フランスにおけるESDI理念の萌芽 要因の考察（1974-1987）」

Stephen Day（大分大学）

「An evaluation on the current debates over the deepening of the integration process. 欧州統合の深化過程をめぐる現下の論争の考察と評価」

C - 9 安全保障（責任者：梅本哲也）

《非国家主体と武力紛争》

司会兼討論 加藤 朗（桜美林大学）

報告 旦 祐介（東海大学）

「非伝統的安全保障と国家主権 イギリス民間安全保障会社協会の動向を中心に」

山根達郎（広島大学）

「西アフリカの地域的安全保障をめぐる国家と武装集団との関係

リベリアにおけるレジーム・チェンジを中心に」

討論 落合雄彦（龍谷大学）

C - 10 国際政治経済（責任者：大矢根聡）

《国際標準と国家の対応》

司会 山田高敬（首都大学東京）

報告 須田祐子（東京外国語大学）

「暗号アルゴリズムの国際標準化 ガバナンス論の視点から」

山本達也（慶應義塾大学）

「グローバル化へのアラブ諸国の対応

インターネット関連政策を中心に」

討論 村山裕三（同志社大学）

C - 11 政策決定（責任者：飯倉 章）

《政策決定とインテリジェンス》

司会 井口治夫（名古屋大学）

報告 奥田泰広（京都大学）

「マクミラン外交再考 対インド政策におけるインテリジェンスの役割」

小谷 賢（防衛研究所）

「政策と情報のリンケージ 戦前日本を例に」

討論 細谷雄一（慶應義塾大学）

森山優（静岡県立大学）

C - 12 国連研究（責任者：則武輝幸）

司会兼討論 上杉勇司（広島大学）

報告 千知岩正継（北九州市立大学）

「(仮題)国際社会における『権威』としての国連安全保障理事会の正当性
冷戦後の人道的介入に対する正当性付与を中心に 」

望月康恵（関西学院大学）

「紛争後の社会における国際的な刑事裁判所の役割 アフリカの事例より 」

討論 伊地哲朗（国際問題研究所）

C - 13 環境（責任者：太田 宏）

司会 太田 宏（早稲田大学）

報告 宮本 融（北海道大学）

「『地球環境の政治』と『エネルギーの政治』
規範主義的分析と客観主義的分析の分裂を超えて 」

石井 敦（東北大学）

「科学アセスメントの学習プロセス 分析枠組みの構築とケーススタディ 」

大久保彩子（東京大学）

「科学アセスメントの学習プロセス 国際捕鯨委員会のケーススタディ 」

討論 亀山康子（国立環境研究所）

蟹江憲史（東京工業大学）

10月28日(日)

分科会セッションD (9:30~11:00) / セッションE (11:15~12:45)

D - 1 アメリカ政治外交（責任者：滝田賢治）

《【カナダ部門】書評会 J・D・ミーハン『日加関係史』》

司会兼報告 加藤普章（大東文化大学）

「書評会 J・D・ミーハン著、田中俊弘・足立研幾・原口邦紘・共訳
『日加関係史 1929-1941： 戦争に向かう日本 カナダの視座から』」

討論 原口邦紘（中央大学）

D - 2 / E - 1 中東 （責任者：北澤義之）

司会 北澤義之（京都産業大学）

報告 池田朋子（東京大学）

「イラン石油利権をめぐるイギリス対外政策（1946年）
新たな方針の模索と伝統的発想 」

今井宏平（トルコ・中東工科大学）

「ポスト冷戦期におけるトルコの外交政策
アメリカの中東政策との関係を中心に 」

今井真士（慶應義塾大学）

「非民主主義体制下の制度設計 ムバーラク政権下のエジプトで
選挙はいかに権威主義体制の持続に寄与したか 」

討論 松永泰行（同志社大学）

伊能武次（和洋女子大学）

D - 3 理論と方法 （責任者：飯田敬輔）

司会 飯田敬輔（東京大学）

報告 草野大希（埼玉大学）

「ネオリアリズム、ネオリベラリズム、コンストラクティビズムの関係づけと体系づけ
複雑システム理論による現代国際政治学理論の総合化」

森川裕二（早稲田大学）

「東アジア地域における政治交流分析

COE-CAS 交流データの応用と適用可能性の検証」

鈴木崇史（東京大学）

「総理大臣国会演説にみる対外認識の推移 東西問題・南北問題を中心として」

討論 鈴木基史（京都大学）

D - 4 / E - 2 安全保障 ・ （責任者：梅本哲也）

《「核の傘」の再検討》

司会 石川 卓（東洋英和女学院大学）

報告 納家政嗣（青山学院大学）

「拡大抑止の信頼性と同盟の信頼性」

黒崎 輝（立教大学）

「核抑止論の受容をめぐる日本の政治と外交、1954 - 1963」

討論 蠟山道雄（上智大学）

梅本哲也（静岡県立大学）

D - 5 / E - 3 国際政治経済 ・ （責任者：大矢根聡）

《経済外交・交渉の再検討》

司会 大矢根聡（同志社大学）

報告 宮本 悟（日本国際問題研究所）

「北朝鮮に対する日本の経済制裁 外為法改正と特定船舶入港禁止法の制定過程」

磯崎典世（学習院大学）

「韓国の FTA 政策をめぐる国内政治：経済構造改革と地域秩序構想における対立」

増永 真（東京大学）

「為替市場と国家

『アイデア』と『認識』の機能からみた通貨交渉における合意形成」

討論 大西 裕（神戸大学）

竹中治堅（政策研究大学院大学）

D - 6 / E - 5 国際交流 ・ （責任者：牧田東一）

《地方自治体の国際政策》

司会 牧田東一（桜美林大学）

報告 佐藤智子（東北大学）

「地方自治体の姉妹都市交流に関する実証的研究
継続的交流を可能ならしめる要因」

古川浩司（中京大学）

「日本の国境地域における対外交流の新展開
自治体主導の『国際政策』の確立に向けて」

西村謙一（大阪大学）

「地方自治体の環境政策と国際交流」

高柳彰夫（フェリス女学院大学）

「貧困削減戦略時代の地域と NGO / 市民社会の国際開発協力」

討論 佐渡友哲（日本大学）

毛受敏浩（日本国際交流センター）

D - 7 / E - 6 トランスナショナル ・ （責任者：鎌田真弓）

《国際社会における人道的規範 その意義と限界》

司会 鎌田真弓（名古屋商科大学）

報告 林 美香（神戸大学）

「多国間条約による人道的規範の実現 通常兵器の規制を題材として」

西谷真規子（神戸大学）

「人道的多国間条約形成のトランスナショナル 国際政治」

大賀 哲（神戸大学）

「拡がる人道的規範と揺らぐ内政不干渉規範 アジアとヨーロッパにおける展開」

討論 足立研幾（立命館大学）

二村まどか（同志社大学）

E - 4 政策決定 （責任者：飯倉 章）

《援助政策決定分析の新しいアプローチ》

司会 飯倉 章（城西国際大学）

報告 金 孝淑（南山大学）

「DAC 諸国における援助行政と援助政策 拒否権プレイヤー理論を応用して」

David M. Potter（南山大学）

「日本におけるマスコミ取材と緊急援助配分政策研究」

討論 稲田十一（専修大学）

E - 7 平和研究（責任者：佐藤幸男）

司会 佐藤幸男（富山大学）

報告 和田賢治（神戸大学）

「ジェンダー主流化の政治 平和支援活動における性的搾取と性的虐待を事例に」

尾立要子（東京外国語大学）

「周辺からの共和主義：フランス海外領政策にみる共和主義の変容

1981-1985年のフランス海外領土政策の検討から」

討論 南山 淳（筑波大学）